

# 談 林

No. 163



第1学年 春季遠足（トリムパークかなづ）

## 「DAIKO」を身近に、より誇り高く

PTA会長 林 順和



伝統ある大野高校において、令和5年度PTA会長となりました林順和（はやしよりかず）と申します。保護者並びに教職員の皆さま、1年間よろしくお願ひいたします。

○恵まれた環境で学び、夢を描いて

現在の大野高校校舎は、平成5年（1993年）に越前大野城の麓から移転し30年が経過しましたが、福井県内の高校で見てもどこにも引けをとらない立派な教育環境が揃っています。昨年度はグラウンドの大規模改修も行われました。受け継がれている伝統は生徒、教職員、地域が一体となって創り上げてきたものです。

大野高校に通う生徒の皆さんには、この恵まれた環境で学び、さまざまな経験をして欲しいと思います。そして、卒業した後も自信を持って歩んでいけるよう自分の夢を描いて歩みを進めて欲しいと思います。

○スローガンに込めた思い

今年度のPTA総会にて活動スローガンを発表させていただきました。スローガンは「大高生徒の安心安全、より良い教育環境に向けて、学校と家庭が連携して行動しよう！自転車ヘルメット着用率100%を目標に」です。

新型コロナウイルス感染症の影響により制限されていたPTA活動を復活していくにあたって、誰のためのPTAなのか、何のためのPTAなのかを、改めて考えてみるきっかけとしたいとの思いが込められています。

さらに、道路交通法の一部が改正されたことにより、本年4月から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。本校生徒の多くは自転車通学しており、大事な子どもたちの安心安全を守る観点からもPTAとして着用を呼びかけていこうということになりました。生徒はもちろんのこと、保護者も教職員も積極的な着用をお願いします。

○創立120周年に向けて

明治38年（1905年）、福井県立福井中学校から独立し福井県立大野中学校となりました本校は、令和7年（2025年）には開校120年の節目を迎えます。先輩方が築き上げてこられた伝統を重んじるとともに、変化の激しい令和の時代を乗り越えていく進取の気象に富んだ大野高校の魅力をより一層高めていく契機とするため、何かカタチに残せないか。関わられたすべての方にとって「DAIKO」が身近に、より誇り高いものとなるよう努めてまいりますので、各位のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

## ご挨拶

P T A副会長 飯山 浩隆



昨年度に引き続き、P T A副会長を務めさせていただきましたことになりました。新たな気持ちで、1年間精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

今年度、担当いたします総務委員会では年3回の広報誌『談林』の発行が主な活動や情報の発信など記載する予定ですので、ぜひご覧下さい。

さて、新しい年度が始まり数か月が経ちました。1年生は中学校生活から高校生活へと大きく環境が変わり、2年生は文理選択をしたクラスでの新しいスタートをし、3年生は進学、就職に向けて将来を見据えた日々を過ごしていることと思います。

【マスク着用の緩和】・【5月8日に新型コロナウイルス感染症も2類から5類に移行】などから学校行事や各種大会、活動も徐々に活発に行なわれるようになってきました。

『以前のように』 私には4月から就職しました長男と長女がいます。長男は大学生生活の1年目から新型コロナウイルス感染症が始まり、長女は入学してから卒業までマスク生活でした。活動や行動の制限があり先輩や友人と過ごす時間が少なくコミュニケーションが取れなかったと聞きました。『あたりまえに出来ていたことができない時代』からの、完全な復活とまではいきませんが、少しずつ笑顔が絶えない、楽しく、のびのびと、健やかに、思い出が残る、高校生活に戻ってくる信じております。

そ、何事もプラス思考で活動することが出来るはずですが、皆さんの大高生活がより充実したものになりますよう、P T Aもまた学校行事や活動を通じて皆さんを精一杯サポートしていくと思います。保護者の皆様と先生方とともに、一緒に考えてより良いP T A活動ができれば今年1年間、皆さまのご協力よろしくお願い致します。

## ご挨拶

P T A副会長 窟 朱美子



令和5年度のP T A副会長を務めさせていただきますことになりました。昨年度まで活動され経験豊富なだったP T A役員の方々の後任というところで身の引き締まる思いです。当然そのような器ではないことは十分承知しておりますが、お引き受けしたからには子どもたちのため、大野高校のために微力ながら全力を尽くしたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

さて、なぜ私がP T A副会長をお引き受けしたのか。私には今年2年生になる息子がおります。大変お恥ずかしい話ですが、昨年の息子は、学校生活や学習、進路等について聞いても全くと言っていいほど何も話してくれず、私自身が心配と不安だらけの1年間でした。そんな時にP T A副会長の打診があり、『私がP T A役員として学校や先生方、保護者の方と積極的に関われば、息子の学校生活や学習、進路のことを知る良い機会じゃない?』と『超プラス思考』でお引き受けすることにしました。その後、私の思いも変わるのか分かりませんが、息子が自分から友人のことや授業のこと、進

路の希望等、少しずつですが話をしてくれるようになってきました。近頃は私の不安や心配も軽減されつつあり安堵しており、P T A副会長をお引き受けした収穫だと思っております。この先どんな変化があるのか、楽しみに過ごしたいと思っています。

## ご挨拶

P T A副会長 中村 裕美



令和5年度のP T A副会長を務めさせていただきますことになりました。初就任ということもあり、至らぬ点もあるかと思いますが精一杯務めさせていただきます。

今年度は補導委員会を担当させていただきます。P T A活動スロガンに『大高生徒の安心安全、より良い教育環境に向けて、学校と家庭が連携して行動しよう』を掲げています。道路交通法が改正され、自転車の利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。自転車通学をする生徒が多い中、自分の命は自分で守るという意識を高めていただきたいと思っております。9月と12月には交通安全指導迎時の駐停車場所の確認をさせていただきます。

## 令和5年度 P T A事業計画

4月7日	入学式
〃	P T A入会式
17日	1学年学級委員会
19日	P T A会計監査
5月13日	P T A実行委員会
13日	一斉常任委員会
5月13日	第1回 総務委員会
6月7日	第1回 進路委員会
9日	第1回 補導委員会
6月7日	第1回 補導委員会
9日	進路ガイダンス
17日	各校P T A会長会議
下旬	第2回 総務委員会
7月11日	第2回 進路委員会
14・15日	北信越高P連 研究大会
中旬	談林 No.163 発行
8月19日	大野市青少年健全育成推進大会
24・25日	全国高P連 研究大会
9月1日	文化祭・営火祭
9月1日	大祭祭
2日	体育祭(総務委員会、冷茶サービス)
9日	県高P連
13・14日	キャリアガイダンス研修会
10月6日	第1回交通安全校外指導
11月2日	進路ガイダンス
5日	県高P連 研究大会

こうと予定しています。

さて、私事になりますが、こども園で保育教諭をしています。小さい子を相手に毎日賑やかで、楽しい時間を過ごしています。『好きこそ物の上手なれ』という言葉があります。子ども達の好きなこと、得意なことをたくさん伸ばしてあげよう！嫌いなこと、苦手なことを好きに変えていこう！を心掛けて保育をしています。こども園という社会の中で、子どもたちは様々な学びがあり日々成長していると感じています。大野高校の生徒たちも同じようにたくさん学びがあると思います。今しか出来ないことに挑戦し、実りある学校生活にしてほしいと願っています。また、新型コロナウイルス感染症も、感染症法の分類が5類へ移行となり、足踏みしていた社会全体が大きく前進していくことで、社会がより一層変化し多様化していく中で、コロナ禍を経験してきた生徒たちには、何事もプラス思考で行動できると期待しています。今年1年、保護者の皆さまの声を大切にし、先生方のお力をお借りしながら、生徒たちが健康で安心、安全に笑顔絶やさず過ごせるような環境作りを心掛けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

## 進取の気象

校長 中森 雅巳



保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

私こと、この4月より伝統ある大野高校の校長を拝命いたしました。12年ぶりに戻ってきた母校の教育活動の一層の充

実、発展を図り、生徒一人一人が自らの意思で学びに向かい、学びを楽しむと思える学校となるよう一生懸命に努めています。よろしくお願いたします。

まず、生徒の皆さん一人一人への期待を寄せて、一学期始業式式辞における心得てほしいことを改めて書き記します。それは、自分の「可能性」を信じて、「新しい学力」を磨くこと、「人間性」を育むことの3点です。

「自分が自分にならないで、誰が自分になる。」という、書家や詩人の相田みつをさんの言葉があります。誰もがそれぞれに、必ず素晴らしい能力を秘めていますから、自分の良さに気づき、自分の可能性を信じ、自分らしく輝いてください。

しかしながら、VUCAと言われる先行き不透明で、将来の予測が困難な現代社会を切り拓いていくためには、伝統的学力のみならず新しい学力が不可欠です。この学力は、「知識」×「思考力」で培うことができます。新しい学力を磨くには、

たくさん「知識」を蓄えることが勿論のこと、「思考力」を鍛えることが肝要です。最も記憶力が高まる高校生の時期に、学問などに真剣に取り組む、より多くの知識を蓄えてください。それとともに、「思考力」を鍛えるため、自分自身で考え、物事に主体的に取り組んでください。自分で「なんだろう?」と考えてみる。その行動により、「勉強」は「学び」となります。主体的に学ぶことによつて、自分の中の何かが変わっていくはずです。学びを楽しいと感じ、意欲がどんどん湧いてくるはずです。

そして、予測困難な時代には、同質性の高い共同体よりも多様な人材が集う共同体を目指すべきとされています。そのためにも、多様性を尊重し、異質なものが寛容に受け入れ、共に創り上げようとするのが大切です。他者の考えや気持ちを理解し、その人を自然と認めることができる感性を持つてください。

さて、わずか数十年の間に、ITの普及、

AIの発達、グローバル化の加速等で社会は大きく変化し、私たちの生活も大きく変わりました。コロナ禍で一人一台端末のGIGAスクール構想が一旦に進み、AIの発達で無人レジも普及し始めました。最近では、ChatGPT使用の是非が教育界で話題になっています。数十年ぶりの円安により電気料金や食品など物価高騰が続いています。ロシアのウクライナ侵攻や鳥インフルエンザの感染により、飼料価格が高騰し、物価の優等生といわれた卵の価格高騰が止まりません。これらの事例は、5年前には考えられなかったことです。このような高速に変化する予測困難な社会を生き抜くために、自らの可能性を信じ、新しい学力を身につけ、人間性を育んでほしいのです。それらの育成を、実施4年目を迎えた本校の「探究プログラム(DK Kompass)」が後押ししています。1年次の「わたしが未来の市長プロジェクト」や2年次以降の社会課題に係る個人探究はその一環です。成人になる直前の大切な時間を大野高校で過ごし土台を築き、すべての子どもたちが次のステージで輝けるように、大野の子は大野で育ち、大野を選んでくれた子ども大野で育つてほしいと願っています。

結びとなりますが、これからもPTA会長をはじめとする役員や保護者の皆様方と情報交換を行い、意思疎通を図りながら、生徒一人一人の進路実現に向けて邁進する所存です。今後とも大野高校の教育活動にご理解とご支援をよろしくお願いたします。



下旬	第3回	総務委員会 (談林編集会議)
28・29日	第2回	交通安全校外指導 (補導委員会)
12月中旬	進路志望アンケート調査	(進路委員会)
中旬	談林 No.164 発行	(総務委員会)
1月下旬	各校PTA会長・ 担当者合同会議	(総務委員会)
2月中旬	第4回	総務委員会 (談林編集会議)
3月1日	卒業式	
下旬	第2回	PTA実行委員会 (総務委員会)

※今後の新型コロナウイルス感染症状況により、変更の可能性あります。